

# 読書のまち・かわさき通信NO.63



読書のまちかわさき

読書のまち・かわさき事業推進委員会 会長  
川崎市教育委員会 学校教育部 指導課長

2014. 3. 10 発行

## 赤木かん子講演会 「子どもの本の現在」

川崎市図書ボランティア研修会  
2014年 1月21日(火)

### が行われました

研修会の当日、寒い日にもかかわらず、250人の方の参加がありました。今年度2回目の研修会は児童文学評論家の赤木かん子先生をお招きして、「子どもの本の現在」をテーマにお話をいただきました。本とは、情報を書き留めておくもの。本の出現によって、知識を次世代に伝えることが可能となった。教える者は、相手が何をどうわからないでいるのか理解できないと、うまく教えることはできない。本は、目次と索引の使い方がわかれば上手く使えるようになる。など、本への向き合い方について熱く語られました。また、図書館について。グーテンベルグのおかげでコピー商品が出回った。これにより人への本の貸し借りが可能になった。図書館は、文字と印刷物を集めると決めた学術機関。情報を収集し、必要な人間に情報を流すことで生活を楽しく、豊かにする役目がなくてはならない。学校図書館は、子どものためのハッキリとした目的が必要。ジャンルを気にかけながら本をそろえ、部屋の広さに合った居心地の良い書架の配置が大切。など、ユーモアを交えて、時間いっぱいまでお話をいただきました。



研修会の当日、寒い日にもかかわらず、250人の方の参加がありました。今年度2回目の研修会は児童文学評論家の赤木かん子先生をお招きして、「子どもの本の現在」をテーマにお話をいただきました。本とは、情報を書き留めておくもの。本の出現によって、知識を次世代に伝えることが可能となった。教える者は、相手が何をどうわからないでいるのか理解できないと、うまく教えることはできない。本は、目次と索引の使い方がわかれば上手く使えるようになる。など、本への向き合い方について熱く語られました。また、図書館について。グーテンベルグのおかげでコピー商品が出回った。これにより人への本の貸し借りが可能になった。図書館は、文字と印刷物を集めると決めた学術機関。情報を収集し、必要な人間に情報を流すことで生活を楽しく、豊かにする役目がなくてはならない。学校図書館は、子どものためのハッキリとした目的が必要。ジャンルを気にかけながら本をそろえ、部屋の広さに合った居心地の良い書架の配置が大切。など、ユーモアを交えて、時間いっぱいまでお話をいただきました。

### みなさまからの声

○図書ボランティアは、こどもに本の読み方を教える、幸せになる為の情報流す仕事。「読み方を教える。」、言われて初めて気づいた気がします。

○リアル系と空想系、ノウハウを聞かれて、何も明確に答えられず、なんとなく、で済ませていた事に気づかされました。

○図書館に子どもを連れて行くと、親子それぞれ興味のある本が違うので、なかなか1冊に決められないのが、先生のお話を聞いてよくわかりました。

○何度ドキッとさせられたでしょうか、読み方を理解できない子どもに本は読めない。その通りです。



# 第9回 かわさき・ゆめ作文 コンクール 表彰式

魅力ある  
まち川崎

1月22日(水)に川崎市役所本庁舎において、「かわさき・ゆめ作文コンクール」表彰式が行われました。小学校低学年から265作品、小学校高学年から120作品、中学校から282作品の応募がありました。どの作品も、自分の住む街や暮らしについて考え、川崎への愛をこめて書かれたものばかりでした。当日、表彰を受けるみなさんは、川崎市長、川崎市教育委員長、川崎市教育長、川崎市立小学校国語教育研究会長、川崎市立中学校教育研究会国語科部会長から、直接賞をいただきました。式では、作品の朗読もあり、二ヶ領用水の存在意義、用水路を介して知った自然の素晴らしさ、厳しさが語られました。賞をいただいた後の、みなさんのすがすがしい笑顔が印象に残る表彰式となりました。



川崎市長、川崎市教育委員長、川崎市教育長、川崎市立小学校国語教育研究会長、川崎市立中学校教育研究会国語科部会長から、直接賞をいただきました。式では、作品の朗読もあり、二ヶ領用水の存在意義、用水路を介して知った自然の素晴らしさ、厳しさが語られました。賞をいただいた後の、みなさんのすがすがしい笑顔が印象に残る表彰式となりました。

## 新しくなります！ガイドブック

2000年(平成12年)、子ども読書年に川崎市は「読書のまち・かわさき」事業を立ち上げ、読書活動推進の第一歩を踏み出しました。各学校の創意工夫ある活動を充実発展させるため、読書活動の内容、環境整備、学校教育に関わる人の役割など、学校図書館運営の指針を示すものとして、平成16年に学校図書館ガイドブックを作成しました。今回、学校図書館ITデータの配置や図書館総合システムの導入、また学習指導要領の改訂などをふまえ、学校図書館も機能の変化に対応するため、改訂版「学校図書館ガイドブックⅡ」を作成いたしました。これまでのガイドブックと併せて活用していただき、学校図書館の運営に役立てていただければと思います。



### 学校図書館 ガイドブックⅡ



川崎市教育委員会

## 子ども読書カレンダー

2014年版  
できました



今年も川崎市教育委員会では、「読書のまち・かわさき」事業の読書普及広報活動の一つとして「子ども読書カレンダー」を作成しました。かわさき読書週間に向けて、小・中・高各学校から応募していただいた読書標語、読書ポスターの優秀賞の作品が掲載されています。

多くの方々に作品を目にとめていただき、川崎市のみなさまの、読書への関心が高まることを願っております。